

2023年8月1日  
スカパーJ S A T株式会社

量子暗号通信網構築を見据えた原理実証実験に使用する  
光通信用装置打ち上げ日程に関するお知らせ

スカパーJ S A T株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一）は、2018年6月より総務省から受託中の研究開発案件「衛星通信における量子暗号技術<sup>※1</sup>の研究開発」<sup>※2</sup>において、光通信用装置を打ち上げ、原理実証実験を行います。この光通信用装置の打ち上げ日程について、下記のとおりお知らせいたします。

光通信用装置を用いた実証実験は、2022年12月に実施した「東京スカイツリー-上野恩賜公園第一駐車場間での地上間光伝送模擬実証」の延長として宇宙空間と地上の間で実施されます。光通信用装置は国際宇宙ステーション（ISS）の補給ミッションである NG-19<sup>※3</sup>に搭載されています。

記

1. 打ち上げ予定日 : 2023年8月2日（日本時間）
2. 打ち上げ場所 : アメリカ合衆国バージニア州ワロップス島  
NASA ワロップス飛行施設
3. 打ち上げ委託先 : ノースロップ・グラマン社（Antares ロケット）
4. 搭載装置 : 光通信用装置

打ち上げに関する最新の情報は、こちらのサイトからご確認いただけます。

<https://www.northropgrumman.com/space/nasa-commercial-resupply-mission-ng-19/>

※1 量子暗号技術：計算技術が進展しても解読の危険性がない暗号技術。

※2 「衛星通信における量子暗号技術の研究開発」：本研究開発は、総務省「ICT 重点技術の研究開発プロジェクト」のうち「衛星通信における量子暗号技術の研究開発」の一環として実施されたものである。

※3 NG-19：シグナス補給船運用19号機ミッションのことで、ノースロップ・グラマン社（Northrop Grumman）のシグナス補給船を打ち上げ、国際宇宙ステーションの「ユニティ」（第1結合部）に結合させて、補給物資を運搬するミッション。

以上

添付資料



図 1 : 光通信装置の外観写真

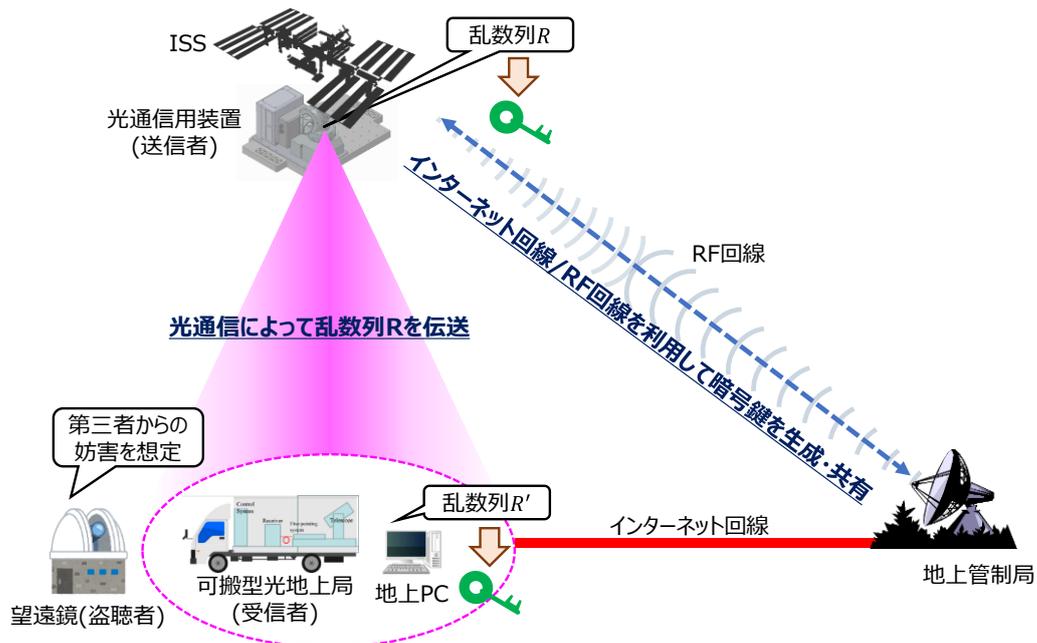


図 2 : ISS-地上間での実証実験イメージ

■ 関連リンク

- ・総務省ホームページ: 平成 30 年度 情報通信技術の研究開発に係る提案の公募の結果  
2018 年 6 月 14 日  
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000247.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000247.html)
- ・スカイツリー-地上可搬局での盗聴解読の脅威のない暗号鍵共有に向けた光伝送実証に成功 -衛星と地上間での量子暗号を見据えた原理実証実験-  
<https://www.skyperfectjsat.space/news/detail/20230316.html>